



消費税基礎講座（オンライン研修：6月10日～6月21日）

水道業務に従事する事務系職員（経営に関する経験3年未満）の方々25名の参加を得て、「消費税の概要」、「消費税における取引の種類」、「消費税の会計処理」、「消費税申告の概要・計算」、「消費税（国税）の計算」、「地方消費税の計算」について、オンデマンド配信方式によるオンライン研修を実施した。

浄水場等設備技術実務研修会（東京会場第2回：6月11日～14日、 東京会場第3回：7月1日～4日）

浄水場・給水所等の運転管理に携わる技術系職員の方々30名（東京会場第2回：15名、東京会場3回：15名）の参加を得て、東京都水道局研修・開発センターの訓練用設備を利用して、実際にポンプの分解組立等、機器類の運転・操作及び浄水処理について実習するとともに、設備機器の保守・管理の実務について研修を実施した。

水道基礎講座（大阪会場第1回：6月12日～14日、大阪会場第2回：6月19日～6月21日）

水道業務に従事する新規採用職員（事務系・技術系）の方々126名（大阪会場第1回81名、大阪会場第2回45名）の参加を得て、「水道概論」、「水道経営」、「水道システム概論」について、水道事業全般にわたる基礎知識に関する研修を実施した。

水道事業事務研修会（経営初級コース）（6月12日～14日）

水道業務に従事する事務系職員（水道歴概ね3年未満）の方々80名の参加を得て、「水道概論」、「水道経営」、「水道事業における会計実務の基礎」、「会計実務～例題・演習～」、「水道事業における消費税及び地方消費税の会計処理」、「経営分析」について、経営の実務を中心とした研修会を実施した。

第191回水質試験方法等調査専門委員会（6月17日）

冒頭で正副委員長の選出を行い、委員長に内山委員（国立医薬品食品衛生研究所）、副委員長に小林委員（国立医薬品食品衛生研究所）が選出された。

続いて、宇津木環境省水・大気環境局環境管理課水道水質・衛生管理室水道水質基準係長から、最新の水道行政に関する情報提供があった。

議事に入り、内山委員長進行のもと、前回委員会の議事録、震災等の非常時における水質試験方法の改訂作業の進捗状況に関して報告した。

その後、無機物、有機物、微生物・生物の各部会に分かれ、それぞれの検討課題に関して討議した。

第1026回会誌編集委員会（6月19日）

本誌7月号の編集方針、投稿原稿の査読等について審議を行った。



企業会計基礎研修会（6月21日）

企業会計に携わった経験が少ない方々67名の参加を得て、「企業会計の基礎」（講師：長岡千晶 税理士法人長岡会計 公認会計士・税理士）について、企業会計の概念から勘定科目、決算書類の見方に関する研修を実施した。

第195回水道 GLP 認定委員会（6月26日）

水道 GLP 認定について審議した結果、愛知県水質試験所（JWWA-GLP033）、かずさ水道広域連合企業団（JWWA-GLP034）、岡山市水道局（JWWA-GLP035）、甲府市上下水道局（JWWA-GLP079）及び公益社団法人大分県薬剤師会（JWWA-GLP081）の認定更新を決定した。

また、大阪市水道局（JWWA-GLP001）、一般財団法人茨城県薬剤師会検査センター（JWWA-GLP103）及び豊田市上下水道局（JWWA-GLP104）の認定維持を決定した。

未納料金対策実務研修会（東京会場第1回：6月27日～28日、大阪会場第1回：7月4日～5日）

水道料金徴収業務に携わる方々90名（東京会場第1回43名、大阪会場第1回：47名）の参加を得て、未納料金対策（給水停止、支払督促等）について実務を中心とした研修会を実施した。

また、グループ別のディスカッションでは、「未納発生を予防する対策」等について活発な情報交換が行われた

令和6年度第2回理事会（6月27日）

青木理事長が議長となり、報告事項として「公益社団法人日本水道協会の会務」について報告した。

続いて議案の審議に入り、第1号議案「公益社団法人日本水道協会第104回総会の運営」、第2号議案「会員の入会」について計2題が上程され、審議の結果、それぞれ原案のとおり決定した。



第104回総会（6月27日）

第104回総会が、砂防会館別館「シェーンバッハ・サボー」において、来賓、会員、関係者約400名の参加を得て、盛大に開催された。

開会式においては、日本水道協会を代表して青木理事長から挨拶があり、次いで国土交通省松原上下水道審議官、総務省自治財政局長（代読：内村公営企業経営室長）から来賓祝辞があった。その後、金沢市の松田公営企業管理者より、令和6年能登半島地震における支援に対する御礼と挨拶があった。



開会式



本協会代表挨拶：
青木理事長



祝辞：国土交通省松原
上下水道審議官



祝辞：総務省自治財政
局長（代読：内村公営
企業経営室長）



挨拶：金沢市松田公営
企業管理者

開会式の後、定款の定めにより青木理事長が議長となり議事に入った。

第1号議案「公益社団法人日本水道協会役員の選任」について、事務局より提案資料に基づく説明があり、審議の結果、原案のとおり新役員を決定した。

続いて、第2号議案「令和5年度公益社団法人日本水道協会会計決算の承認」について、事務局より提案資料に基づく説明があり、審議の結果、原案のとおり決定した。

なお、第2号議案については、事務局の説明に続き、監事を代表して土井一成氏から監査報告があった。



監査報告：土井監事

次に、報告事項として「令和6年度公益社団法人日本水道協会会計予算」、「令和7年度水道関係予算の陳情」について、事務局より資料に基づく説明を行い、本総会の議事を終了した。

総会終了後、「水道事業の今後の展望～水道整備・管理行政の移管を踏まえて～」と題し、国土交通省松原上下水道審議官を講師に迎え、特別講演を開催した。



講師：国土交通省松原上下水道審議官



特別講演の様子

令和6年度第3回理事会（6月27日）

青木理事長が議長となり、議案「公益社団法人日本水道協会第105回総会の開催及び開催通知の送付」について上程され、審議の結果、原案のとおり決定した。



第205回工務常設調査委員会（6月28日）

冒頭、本荘谷工務部長から開会挨拶があった。

はじめに、正副委員長の互選を行い、委員長には横浜市水道局の鈴木担当理事が、副委員長には東京都水道局の藤川給水部長、大阪市水道局の尾原理事が選任された。

その後、鈴木委員長の進行の下、「JWWA規格の検討開始について」、「指定給水装置工事事業者研修テキスト2024の発刊について」

審議を行い、了承された。この他、「社会資本整備重点計画等に関する事務常設調査委員会での要望・調整について」、「配水管講習会に関わる運営委員会について」、「卒業生進路に関するアンケート結果について」、「情報発信スキルアップセミナーの実施報告について」、「ISO/TC224等上下水道関連国際標準化の動向について」、「広域化及び公民連携 情報プラットフォームのご案内について」、「水道メーターの検定有効期間の見直しについて」、「令和6年能登半島地震に係わる日本水道協会及び応援水道事業者の対応等について」事務局より報告を行った。

加えて、水道事業者委員より令和6年能登半島地震に関する応援活動について、報告があった。



漏水防止講座（東京会場第2回：7月1日～3日）

漏水防止業務に従事する技術系職員の方々47名の参加を得て、東京都水道局研修・開発センターにおいて研修会を実施した。第1日目及び第2日目に「漏水防止概論」、「漏水防止の現状と課題」、「漏水防止作業」、「漏水探知技術」、「漏水機器の取り扱い」について講義を行い、最終日には、漏水防止関連機器を使っでの実地研修を行った。

第68回国際委員会（7月3日）

はじめに審議事項①「委員長の互選について」を上程し、委員長に大阪市水道局の尾原委員が選任された。

次に審議事項②として「水道シニア国際協力専門家登録制度実施要項の一部改正」を上程し、原案のとおり了承された。

続いて報告事項として「令和5年度国際活動」、「令和5年度国際研修」、「令和6年度国際活動」について、それぞれ事務局から報告を行った。

最後に、審議事項③「令和7年度国際研修計画について」を上程し、原案のとおり了承された。



消費税実務講座（7月4日～5日）

水道業務に従事する事務担当者の方々48名の参加を得て、「国・地方公共団体の消費税」、「地方公営企業の消費税等の予算経理及び会計処理」（講師：中田ちず子 中田ビジネスコンサルティング代表 公認会計士・税理士）について、消費税の実務的な理論や会計処理についてワークシートを用いた演習を主体に研修を実施した。

第199回水道統計編纂専門委員会（7月8日）

水道協会雑誌8月号へ掲載する「水道統計経年分析（令和4年度）」の原稿について、各委員より提出された修正内容の審議を行い、了承された。



第783回抄録委員会（7月10日）

本誌10月号、11月号に掲載する外国文献の抄録内容等について審議を行った。

